

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	武蔵野短期大学
設置者名	学校法人 武蔵野学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門科目	合計		
	幼児教育学科	夜・通信	19			19	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://portal-k.musashino.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx

検索方法は以下の通り

大学 HP→情報公開 I →シラバス→シラバス検索画面の校地「10: 武蔵野短期大学」を選択→一番右下の入力箇所に「実務経験」を入力し検索

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	武蔵野短期大学
設置者名	学校法人武蔵野学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学 HP→情報公開 I →1. 「教育研究上の基礎的な情報」についての公表
<https://www.musashino.ac.jp/mgu/information/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	R7.6.3 ～R11.6	労務・法務、組織運 営体制へのチェッ ク機能
非常勤	会社役員	R7.6.3 ～R11.6	財務、組織運営体制 へのチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	武蔵野短期大学
設置者名	学校法人 武蔵野学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画(シラバス)は、9月下旬より12月中旬にかけてディスクロージャーがハンドブックの更新作業を行い、12月中旬から2月にかけて教科目担当教員に対しハンドブックを配付し、執筆依頼を行う。学生が履修計画を立て、主体的に学習を進めやすくするためにシラバスと学習ルーブリックを同一ページから確認できるようにしている。 教科目担当教員は、各項目をWeb(Musashino Academic Station)上で入力し、その後、執筆された授業計画を教務部の点検を経て、4月1日にHP上に公開している。	
授業計画書の公表方法	https://portal-k.musashino.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) シラバスに記載されている「成績評価の方法」、「成績評価の基準」、「学習ルーブリック」をもとに成績評価をまとめ、学則第 22 条および第 23 条に基づき、教授会の議を経て、学長が単位を認定する。 (シラバス「成績評価の基準」より抜粋) 成績評価は、武蔵野短期大学学則第 23 条および GPA に関する指針を基準として、5 段階評価(S, A, B, C, F)で行う。C 以上の評価を得た場合に合格とする。 学科の授業科目のシラバス一覧 https://portal-k.musashino.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx	
3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価において『2026 年度 履修の手引き』の「成績評価について」でG P Aの指標を設定し、成績評価の方法基準により、厳格かつ適正に成績評価をしている。また、学生指導や奨学金に対して成績の分布状況を共有し、指導に役立てている $GPA = \frac{S \text{ の単位数} \times 4.0 + A \text{ の単位数} \times 3.0 + B \text{ の単位数} \times 2.0 + C \text{ の単位数} \times 1.0}{\text{履修登録単位数}(F \text{ の単位数を含む})}$	
客観的な指標の算出方法の公表方法	2026 年度 履修の手引き https://www.musashino.ac.jp/mjc/department/curriculum/handbook/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定に関する方針を「幼児教育学科規程」にまとめ、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）として HP に公開している。

卒業要件は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を理解し達成でき、2 年以上在学し、卒業に必要な 62 単位以上を取得した者で、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）は以下の通り。

- 1 知識・理解
教育・福祉に関する基本的な知識への理解
- 2 汎用的技能
教育・福祉に関する実践的能力と職業的自覚をもち、多様化する社会的要請に対応できる能力
- 3 態度・志向性
他者と協調・協働して行動し、使命感をもって社会に貢献できる資質や能力
- 4 総合的な学習経験と創造的思考力
獲得した知識や技能を活用し、自ら課題を的確に捉え、課題解決に向けて探求する能力

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）
<https://www.musashino.ac.jp/mjc/about/3policy/>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	武蔵野短期大学
設置者名	学校法人武蔵野学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.musashino.ac.jp/mjc/information/ 大学 HP→情報公開Ⅰ→「財務情報(決算)」についての公表
収支計算書又は損益計算書	https://www.musashino.ac.jp/mjc/information/ 大学 HP→情報公開Ⅰ→「財務情報(決算)」についての公表
財産目録	https://www.musashino.ac.jp/mjc/information/ 大学 HP→情報公開Ⅰ→「財務情報(決算)」についての公表
事業報告書	https://www.musashino.ac.jp/mjc/information/ 大学 HP→情報公開Ⅰ→「財務情報(決算)」についての公表
監事による監査報告(書)	https://www.musashino.ac.jp/mjc/information/ 大学 HP→情報公開Ⅰ→「財務情報(決算)」についての公表

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:
公表方法:	
中長期計画(名称:	対象年度:
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:
大学 HP→情報公開Ⅱ→自己点検・評価活動

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 幼児教育学科
教育研究上の目的（公表方法： https://www.musashino.ac.jp/mjc/about/3policy/ ）
（概要） 1 広い視野に立ち、自己の人生に深く思いを巡らし、社会に寄与する主体性のある人材を育成すること。 2 幼児教育者・保育者としての深い愛情と使命感を持ち、信念を持って教育にあたる幼稚園教諭・保育士の養成をすること。 3 知的学習と実践的学習の調和、統合の上に自ら学習し体得したものを幼稚園教諭・保育士として効果的に発揮できるような実践的・実際教育を重視すること。 4 創意と工夫により幼児教育者・保育者としての職務を現場で十分に達成できるよう基礎的な研究能力と積極的な研究態度を身に付けさせること。
卒業又は修了の認定に関する方針
（公表方法：https://www.musashino.ac.jp/mjc/about/3policy/） （概要） 1 知識・理解 教育・福祉に関する基本的な知識への理解 2 汎用的技能 教育・福祉に関する実践的能力と職業的自覚をもち、多様化する社会的要請に対応できる能力 3 態度・志向性 他者と協調・協働して行動し、使命感をもって社会に貢献できる資質や能力 4 総合的な学習経験と創造的思考力 獲得した知識や技能を活用し、自ら課題を的確に捉え、課題解決に向けて探求する能力
教育課程の編成及び実施に関する方針
（公表方法：https://www.musashino.ac.jp/mjc/about/3policy/） （概要） 武蔵野短期大学幼児教育学科では、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に示した資質・能力を踏まえ、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の達成のために、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を以下のように定める。 1 幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格の取得に関する科目による、幼稚園教諭・保育士養成課程を編成する。 2 教育・福祉に関する専門的知識や技能の習得、職業人としての態度の育成のために、「基礎科目（教養科目）」と「専門科目」を体系的・系統的に配置する。配置については、科目内容の分野や関連性に基づく履修系統図の作成により、学生が科目の体系的・系統性を理解できるようにする。

3 実践的能力の育成のために、「専門科目」における「技術、領域、指導専門科目」の中に表現技能を習得する科目を配置する。

4 建学の精神を理解し、社会性や学ぶ力を身に付けるため、また知識や技能を活用した課題解決能力の育成のために「総合科目」を配置する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://www.musashino.ac.jp/mjc/about/3policy/>)

(概要)

求める人物像

- 1 幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格を取得し、卒業後は子どもに関わる職業に就きたいという意欲のある者
- 2 (知識・技能) 教育・福祉の学修に必要な基礎学力を備えている者
- 3 (思考力・判断力・表現力) 幼児教育者・保育士を目指すために自らの考えを持ち、表現できる者
- 4 (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度) 幼児教育者・保育士を目指すための基本的コミュニケーション能力を備え、「他者理解」の体現に向けて努力する意欲のある者

入学者選抜方法

武蔵野短期大学では、幼児教育者・保育士を目指す多彩な学生の受け入れを図るべく、多様な入学者選抜方法を設ける。上記の「求める人物像」を踏まえ、以下の評価方法で各選抜方法を実施する。

・総合型選抜

基礎的な学力や、思考力、表現力を審査するために、小論文や技能的課題等を課す。また、意欲や主体性・協働性を審査するため、調査書等を踏まえた面接を行う。

・学校推薦型選抜

基礎的な学力や主体性、協働性を審査するため、調査書や推薦書等の内容を選抜の基礎資料として用いる。また、思考力や判断力を審査するため口頭試問を行う。

・一般選抜

基礎的な学力や思考力を審査するため、教科・科目に係る個別テスト（国語）を課す。また、主体性や協働性を審査するため、調査書等を踏まえた面接を行う。

大学入学共通テスト利用選抜では、基礎的な学力や思考力をはかるため、大学入学共通テストを課す。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.musashino.ac.jp/mjc/information-02/organization/>

大学 HP→情報公開Ⅱ→組織図・学則・ガバナンスコード

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1 人	－					1 人
	－	3 人	4 人	3 人	人	人	10 人
	－	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1 人		26 人					27 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.musashino.ac.jp/mjc/department/teacher_5/ 大学 HP→学科案内→教員紹介					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
	100 人	59 人	59%	200 人	119 人	59.5%	0 人	0 人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	100 人	59 人	59%	200 人	119 人	59.5%	0 人	0 人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
幼児教育学科	60 人 (100%)	5 人 (8%)	52 人 (87%)	3 人 (5%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な進学先・就職先)（任意記載事項）				
進学先：武蔵野学院大学 3 年次編入、就職先：幼稚園、保育園、こども園				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 授業計画（シラバス）は、9月下旬より12月中旬にかけてディスクロージャーがハンドブックの更新作業を行い、12月中旬から2月にかけて教科目担当教員に対しハンドブックを配付し、執筆依頼を行う。学生が履修計画を立て、主体的に学習を進めやすくするためにシラバスと学習ルーブリックを同一ページから確認できるようにしている。 教科目担当教員は、各項目をWeb（Musashino Academic Station）上で入力し、その後、執筆された授業計画を教務部の点検を経て、4月1日にHP上に公開している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) シラバスに記載されている「成績評価の方法」、「成績評価の基準」、「学習ルーブリック」をもとに成績評価をまとめ、学則第22条および第23条に基づき、教授会の議を経て、学長が単位を認定する。 (シラバス「成績評価の基準」より抜粋) 成績評価は、武蔵野短期大学学則第23条およびGPAに関する指針を基準として、5段階評価(S, A, B, C, F)で行う。C以上の評価を得た場合に合格とする。 卒業の認定に関する方針を「幼児教育学科規程」にまとめ、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）としてHPに公開している。卒業の認定は、学則第25条および第26条に則り、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。 学科の授業科目のシラバス一覧 https://portal-k.musashino.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針） https://www.musashino.ac.jp/mjc/about/3policy/

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	幼児教育学科	62 単位	㊦・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://www.musashino.ac.jp/mjc/campus_life/institution/
大学 HP→キャンパスライフ

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	幼児教育 学科	600,000 円	300,000 円	280,000 円	施設費、実験実習費(R7 年度入 学生まで)
	幼児教育 学科	695,000 円	300,000 円	360,000 円	教育充実費、実験実習費(R8 年 度入学生から)
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 1 年次から 2 年次までクラスごとの担任制を設けています。一人ひとりの学生の学業上の相談や進路指導、生活面でのアドバイスなど、きめの細かい修学支援を心がけ、学生のささいな変化や不安にも気づき、対応できる体制を整備しています。学生は、なにか不安を感じたらすぐに担任に相談できるので、修学上のつまづきを 早期に解決することが出来ます。また、幼稚園教諭二種免許状と保育士（国家資格）の両方を取得するために実習も多くこなさなければなりません、担任のサポートが手厚く、安心して実習に臨めます。これらに加えて連携大学の協力のもと小学校教諭二種免許状の取得や、おもちゃインストラクター等のプラスアルファの資格取得もサポートしています。 本学独自の奨学金として、総合型選抜や一般選抜等の入試結果、高校の成績等に基づき、優秀な学生に対して、学費等の一部を給付しています。また、入学後も、GPA に基づき、優秀な学生に対して、学費等の一部を 給付しています。その他にも埼玉県等の自治体が設けている「保育士修学資金貸付制度」や「高等教育の修学支援制度」のほか「日本学生支援機構」の奨学金制度、「生活福祉資金貸付制度」、「学費サポートプラン（株オリエン트 コーポレーション）」なども適宜、案内しています。 また、自然災害で被災した学生や、家計急変等で経済的支援が必要な学生に対して、修学が継続できるよう、本学独自の支援体制も整えています。 https://www.musashino.ac.jp/mjc/wp/wp-content/uploads/2024/06/health_tandai.R6.pdf
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 実習・就職部を完備し、常時専任教職員により支援・相談をしています。 https://www.musashino.ac.jp/mjc/career_employment/support/
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 保健室や学生相談室を完備し、心身の健康等に関する専門的な相談等ができるように体制を整えています。 気軽に相談ができるよう、身近な担任をはじめ、内容によっては学生部や教務部等の担当者に相談することができます。個人的な悩みや相談においてはすべての個人の秘密は守られるので安心して利用できます。（セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント等を含む） https://www.musashino.ac.jp/mjc/wp/wp-content/uploads/2024/06/health_tandai.R6.pdf

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.musashino.ac.jp/mjc/information/ 大学 HP→情報公開 I 「教育研究上の基礎的な情報」についての公表 備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F211310102217
学校名 (〇〇大学 等)	武蔵野短期大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人武蔵野学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		38人（23）人	39人（20）人	39人（23）人
内 訳	第Ⅰ区分	－ 人	－ 人	
	(うち多子世帯)	(－ 人)	(－ 人)	
	第Ⅱ区分	－ 人	－ 人	
	(うち多子世帯)	(－ 人)	(－ 人)	
	第Ⅲ区分	－ 人	－ 人	
	(うち多子世帯)	(－ 人)	(0人)	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－ 人	－ 人	
	区分外（多子世帯）	－ 人	－ 人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（0）人
合計（年間）				39人（23）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	5人	6人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。